

令和7年度グループホームレオ参番館地域連携推進会議

日時：令和7年11月29日（土）10：00～11：15

場所：グループホームレオ参番館

参加者：入居者様 1名、入居者様ご家族 2名、地域関係者 1名、

職員 3名

1. ご挨拶、参加者の紹介

- ・管理者が司会進行を行い、ご挨拶と会議出席のお礼、出席者の紹介、会議の趣旨の説明を行いご理解とご協力をお願いしました。また、この会議は事業所の見学会も兼ねていることもお伝えしました。

2. あゆみ会について

- ・グループホームレオ参番館は社会福祉法人あゆみ会が運営しています。本部は泉区緑園の小中一貫校の横浜市立緑園学園の近くにあります。

あゆみ会はグループ法人であるカスタムメディカル研究所から海老名市にある保育園を寄付していただいたところから誕生しました。

その年に泉区に『放課後等デイサービスおれんじ』の開設準備を始め、平成25年11月に開所しました。泉区での立ち上げ当時は近隣からの苦情・障がい者への偏見があり心ない言葉を浴びせられたこともありましたが、根気よくご理解いただくように挨拶をしたり、近隣周辺の清掃を行うなどをしていくうちに、だんだんとご理解いただけるようになり今は助けていただける関係となりました。今思えば近くに障がい者の施設が出来て、どのように接したらいいのか分からなかったのだと思います。

また、役所や他の支援機関との連携も大切にしており、ご利用者を知り、制度を知り、ご利用者様が困っていることを探し、何が出来るのかを考え、ご利用者様に『私たちと会えてよかったです。』と言っていただけるような支援を心がけています。

おかげさまであゆみ会は今では、保育園が2件、放課後等デイサービスが3件、就労施設が2件、グループホームが3件とだいぶ大所帯になってきました。

3. レオ参番館について（共同生活援助の内容）

- ・レオ参番館はあゆみ会のグループホームの3番目として令和4年11月に開所し、ちょうど3年になります。障がいを持っていても自立を目指している方が共同生活を送りながら就労先に通われるのをお手伝いする施設です。
- ・知的障害、聴覚・視覚障害、ダウン症、自閉症の方が生活されています。
- ・年齢は20代1名、40代2名、50代2名、60代1名の計6名です。12月に20代の方が入居予定です。
- ・入浴やトイレで介助の必要な方はお手伝いをしています。
- ・食事は食材を配達していただき、台所で職員が調理して提供しています。
- ・居室の掃除はご本人にしていただくので掃除の苦手な方はお手伝いをしています。
- ・天気のよい日には声かけをして、順番に布団干しを行っています。

4. 年間行事

- ・年間行事としては、豆まき、ひな祭り、クリスマス会、お誕生日会などを行っています。

5. 地域との関わりについて

- ・入居者様と一緒に近くのコンビニやスーパーに買い物に行ったり、近隣の医療機関や理美容を利用しています。
- ・町内会の夏祭りに参加させていただいている。

6. 薬の取り扱いについて

- ・薬を服薬される方がほとんどで、薬の管理は事業所で行っています。
- ・日勤者と夜勤者の2名でその日に飲まれる薬に間違いがないかを確認します。
- ・薬を飲まれる前に入居者様と薬袋に書いてある日付・名前を確認してから入居者様の手のひらに錠剤を乗せて水で飲んでいただいている。飲み終わったら口を開けていただき飲み込みの確認をしています。
- ・災害で避難用に普段服薬している薬をすぐに持ち出せるよう袋に用意してあります。

7. 避難訓練（非常時の対応について）

- ・火災や地震を想定した避難訓練を年2回以上行っています。
- ・避難場所に避難した場合のご家族の連絡先や障がいの程度、服薬している薬の情報を記載した連絡用のファイルを作成しています。
- ・被災した場合のBCP（業務継続計画）を作成しファイルしています。
- ・避難場所（秋葉小学校・中学校）までは距離あり、入居者様全員と避難する場合、徒歩で30分以上かかる見込みです。

8. 施設内見学

- ・地域関係者の方は施設内は初めてなので、見学していただきました。

9. その他

- ・地域関係者様より
 - 避難場所について詳しくお話しを聞くことが出来ました。秋葉小学校と隣接の秋葉中学校が避難場所になっており、秋葉小学校が主に女性の避難場所とのことです。
また、避難経路は道が狭いため地震災害の場合は迂回して、時間がかかる道を利用した方がよいとのことでした。
 - 地域関係者様は町内会の連合会や地域ケアプラザなどとも広く交流されているそうで、ここに障がいを持った方のグループホームがあることを周知してくださるそうです。
- ・入居者様ご家族より
 - グループホームで落ち着いて生活が出来ているので安心しています。
 - 家族が元気なうちはいいが、先のことが気になります。
 - 入居はまだ早いと思いましたが、思い切って手放してよかったです。本人もここが自分の家だと思って生活しているようです。